

R2.7.30 時点

うるま市 新型コロナウイルス感染症対策 ガイドライン その①

児童生徒(保護者)向け



※このガイドラインは文部科学省のガイドライン、沖縄県のガイドラインを参考に作成しています。

小学校低学年のお子さんとは保護者でゆっくり読み聞かせてください。

小学校高学年以上は学級担任の保健指導用資料として活用してください。

うるま市教育委員会

新型コロナウイルス感染防止に向けて、皆さんに守ってほしい事が
あります。

子どもも大人もみんなが、毎日、健康で、笑顔で暮らせるために
守って欲しいことです。

むずかしいことはありません。

皆さんが強い気持ちを持てばいいのです。

自分の命を守る。

自分の大切な人の命を守る。

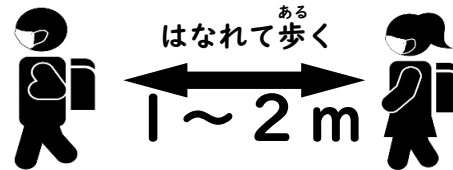
社会全体の人の命を守る。

だから、感染予防に努力する。

それだけです。



とうこうまえ ・ とうこうじ
登校前 ・ 登校時



- ① 毎朝、検温を行い健康観察シートへ記入します。
 - ② 発熱、風邪症状がある場合には自宅で休養します。
 - ③ 高熱、だるさ、息苦しさなどの体調が悪いときは、中部保健所等に相談します。
 - ④ 家族に鼻水、咳、風邪の症状やだるさがある場合も、自宅で休養します。
- (②・③・④の場合は出席停止として扱いますので、必ず学校へ連絡します。)
- ⑤ 登校時にはマスクを着用するか、持参した上で、周囲との間隔を2m以上空けて登校します。
 - ⑥ こまめな水分補給のために、水筒を(水・お茶)を持参します。
 - ⑦ 朝の検温を忘れた場合は、学校で決められた場所で検温をして教室へ入ります。
 - ⑧ 学校に登校したら、各教室に入る前に、手洗いを必ず行う。洗ったあとに手をふくためのタオルやハンカチは必ず自分のものを持つようにして、友達のものと一緒に使うことはやめましょう。
 - ⑨ 朝は、教室の窓を開け、換気をします。

①手洗い

正しい手の洗い方

手洗いの前に

- ・爪は短く切っておきましょう
- ・時計や指輪は外しておきましょう

流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。

手の甲をのぼすようにこすります。

指先・爪の間を念入りにこすります。

指の間を洗います。

親指と手のひらをねじり洗います。

手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

保護者のみなさまへ

〈新型コロナウイルス感染症〉より一層の対策を講じるために
学校でも健康観察の徹底、強化を図ることで全児童生徒の健康把握につとめます。

【家庭へのお願い】

- ※毎朝の検温・健康観察をしっかりと行ってください。
- ※健康観察シートを記入し毎日記録をしてください。



新型コロナウイルス感染症対応フローチャート(家庭用)

毎朝必ず登校前の検温・健康観察をします

発熱なし、普段
と変わらない

この中で一つでも症状がある

① 高熱・強いだるさ・息苦しさ

② 重症化しやすい方

高齢者・糖尿病・呼吸器疾患・
免疫抑制剤や抗がん剤治療中の方

本人が軽い鼻水や咳、
風邪の症状がある。
少し体がだるい。

家族に軽い鼻水や咳、
風邪の症状がある。
体のだるさあり。

このような場合は
お休みさせていただきます。

登校 OK
マスクを着用し
て元気にいっ
てらっしゃい♪

① 新型コロナウイルス感染症コールセンター
TEL : 098-866-2129

② 中部保健所
TEL : 098-938-9701

全身症状がよくな
るまで、家で様子
をみてください。

伝染性はないか、健
康観察を行うなどし
て、家庭で本人の様
子をみてください。

学校保健安全法第 19 条による出席停止扱いとなります。

※その他、現在治療中または医療的ケアを必要とするお子さん、基礎疾患のあるお子さんの中には重症化のリスクが高いケースがあることから、主治医や学校医に相談の上、個別に登校の判断を行う。その際は学校へ連絡を入れて出席停止となります。

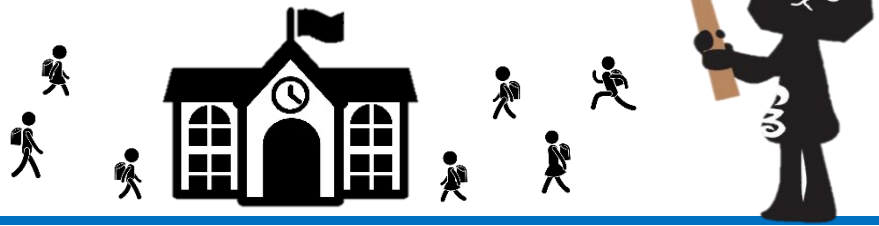
* 感染と診断された、または疑いがある・濃厚接触者であると判断された場合は学校へ連絡ください。

* 熱が下がらない、風邪症状が続く場合、下記へ連絡し、受診等について相談されてください。

・新型コロナウイルス感染症コールセンター ☎ : 098-866-2129

・中部保健所 ☎ : 098-938-9701

がっこうせいかつ 学校生活



① 朝、担任による健康観察で体調不良がみられる場合は、早退となります。
その場合は確実に保護者で迎えをお願いします。

② 学校で決まった時間または、休み時間ごとに手洗いをします。



③ 学校内では常にマスクを着用します。
ただし、3つの条件が重ならない場所で、周囲に人がいないなど、
マスクを着用しない場合（体育の活動時間等）があります。
その時は先生の指示に従ってください。



④ 各教室では、休み時間に窓をあけ、換気の時間を取ります。出入口のドアも開放します。

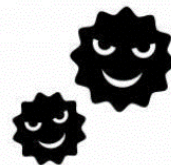
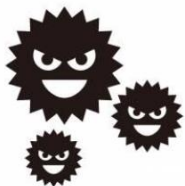
⑤ 大勢の人がさわる共用部分をふれた後は、石けんで手洗いをします。

⑥ 外から教室に入るときも、石けんで手洗いをします。



⑦ 教室内においては、人との距離をできるだけ離し、大声は出さない。

ウィルスの好きな「3つの密」



(がやがや)

(むんむん)

(ぎゅうぎゅう)



間近で会話

換気が悪い

多くの人が集まる

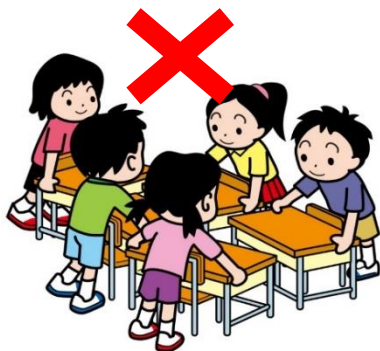
密接

密閉

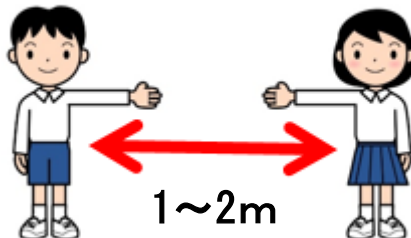
密集

★ 給食や グループ活動も席を離す

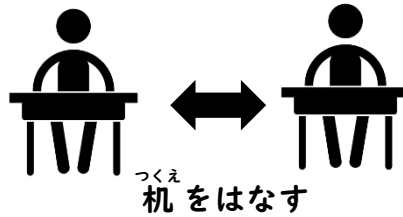
★ 顔の近くで大声を出すのも やめよう



★ 人との間隔をあげよう

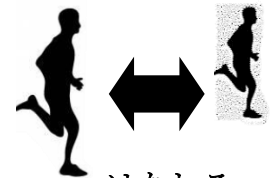


きゅうしょく 給食



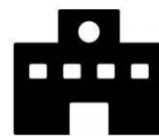
- ① 給食準備時間は、全員、石けんで手洗いを徹底します。
 - ② 給食当番は、健康・衛生チェックなどを毎日点検します。
 - ③ 給食を取るときは、前を向いて向かい合わせにはせず、座席の間隔をできるだけ空けて、会話を控えるようにします。
- ※ 給食は近い距離で会話をする状況になり、感染リスクが高くなります。

ぶかつどう ほうかご かつどうなど 部活動・放課後の活動等



- ① 部活動・放課後の活動等をはじめの前には、部顧問の先生との健康観察や検温を行ってから実施します。
発熱やだるさ等の風邪の症状が見られる児童生徒は、部活動・放課後の活動等への参加を見合わせ、自宅で休養するようにします。
- ② 基本的な感染症対策を徹底して実施します。
 - ★ 3つの条件（密閉、密集、密接）が重ならないよう実施します。
 - ★ 部活動ごとに、活動日・活動時間を設定し、感染リスクを抑え過度な運動にならないようにします。
 - ★ コップの回し飲みは絶対にしません。★ タオルの共有は絶対にしません。
 - ★ 換気を十分におこなって活動します。
- ③ 部室等の利用に当たっては、短期間の利用とすることや、一斉に利用しないことで、密集を防ぐようにします。

きゅうぎょうなど きじゅん 休業等の基準・その他



ほごしゃ じどう せいと けんさ う ばあい のうこうせつしよくしゃ うたが
保護者は児童生徒が、PCR検査を受けることになった場合や、濃厚接触者（疑いも
ふく ばあい がっこう かなら れんらく じゅんしゆ
含む）となった場合は、学校に必ず連絡します。 *プライバシーは遵守します*

じどう せいと きょうしよくいん ひとり かんせんしゃ で ばあい にちかんでいど きゅうこう
① 児童や生徒、教職員に1人でも感染者が出た場合は、5日間程度の休校とします。

じどう せいと きょうしよくいん のうこうせつしよくしゃ ばあい しゅつせきていし がつきゅう
② 児童生徒や教職員が濃厚接触者となった場合には、出席停止とします。学級
およ ぶかつどう がつきゅうへいさ およ かつどうていし など たいおう おこな
及び部活動については学級 閉鎖及び活動 停止とする等の対応を行います。

くに きんきゅうじたいせんげん はつれい ばあい しないぜんこう りんじきゅうこう じっし
④ 国による緊急事態宣言が発令された場合には、市内全校の臨時休校を実施するこ
ともあります。

はつねつ せき かぜ しょう じょう み ほごしゃ しんがた
⑤ 発熱や咳などの風邪の症状は見られないが、保護者が新型コロナウイルスへの
かんせん おそ じどう せいと どうこう つよ ふあん うった ばあい
感染を恐れ、児童生徒を登校させることに強い不安を訴えた場合、「出席停止・忌引
けつせきあつか
等の日数」として記録し、欠席扱いしない場合もありうると考えられます。

き そしつかんなど ようじじどうせいと なか じゅうしょうか たか
⑥ 基礎疾患等のある幼児児童生徒の中には、重症化のリスクが高いケースもあること
から、登校については、主治医や学校に相談してください。

いじょう きほん しょうじょう おも がっこうない かつどう ひろ せつしよくしゃ
以上を基本としながら、症状の重さや、学校内における活動の広さ、接触者の
おお ち いき かんせん ひろ など かんが はんだん けっか がっこうぜんたい りんじ
多さや地域における感染の広がり等を考えて判断する。その結果、学校全体の臨時
きゅうぎょう しない ぜんたい りんじきゅうぎょうなど じっし
休業にとどまらず、市内全体の臨時休業等も実施する。

児童生徒の皆さんに ^{かんが} ^ほ 考 えて欲しいこと

* ^{かんせん} ^{ひと} 感染した人などへの ^{わるくち} ^{さべつ} ^{ぜったい} 悪口や差別は絶対にやめましょう。

* ^{だれ} ^{かんせん} ^{かのうせい} ^{びょうき} 誰もが感染する可能性のある病気です。
^{さべつ} ^{へんけん} 差別や偏見、いじめなどがあってはいけません。

* ^{かんせん} ^{ひと} 感染した人とその ^{かぞく} ^{ちりょう} 家族、 ^{いしや} 治療をしているお医者さんやその ^{かぞく} ^{さべつ} 家族などを差別する ^{ぜったい} ことは絶対やめましょう。

* ^{とき} 辛い時こそ ^{はげ} ^あ みんなで励まし合いましょう。

* ^{かか} 一人で抱え込まず、 ^{そうだん} 相談しましょう。



いじめなどがあつたときに ^{そうだん} 相談するところ

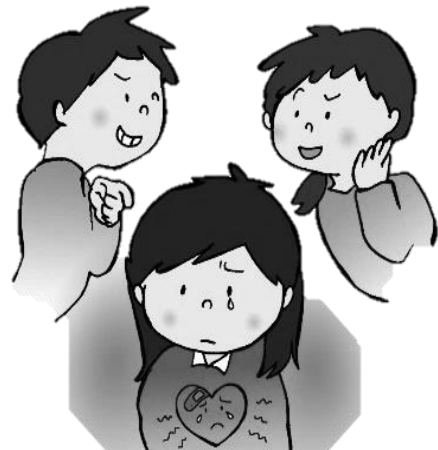
学校の先生やスクールカウンセラー


うるま市教育支援センター

石川地区：TEL 098-965-5631

具志川・与勝地区：TEL 098-989-9127

FAX 098-989-9134





保護者の皆様へ

感染者への差別偏見をなくしましょう

新型コロナウイルスに感染したという『恐怖』と『差別』を受けたくないという思いから、病院への受診を拒み、それが更なる拡散につながっている状況があるとされています。

また、看護師や医師等の医療従事者、感染リスクの高い業務についている方々のお子さんに対して、いじめや差別が起きている状況が報道されています。

これは、見えない新型コロナウイルスに対する恐怖があるからです。

この『恐怖』と戦うための一番の武器は、感染症予防のための正しい知識を持つこと、予防のための正しい行動をすること、そして何より大切なことは、『支え合う』ことです。恐怖のループは断ち切ることは一人ではできません。

私たち人間は、支え合うことで恐怖を払拭することができるのです。

感染症を予防しながら、毎日の楽しい学校生活を送るためには、支えあう・気遣い合うことが必要不可欠です。それを教えることが大人の役割であり、責務であると考えています。

ぜひ、ご家庭でも子供たちと一緒に話し合ってみてください。

